



Title	A novel role for thyroid hormone receptor beta in cellular radiosensitivity
Author(s)	松瀬, 美智子
Citation	(2008-03-19)
Issue Date	2008-03-19
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10069/20753">http://hdl.handle.net/10069/20753</a>
Right	

This document is downloaded at: 2020-10-28T18:25:59Z

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第148号	氏名	松瀬 美智子
学位審査委員	主査 永山 雄二 副査 関根 一郎 副査 近藤 宇史		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、今まで全く未知であった種々の癌で見られる甲状腺ホルモン受容体<math>\beta</math>遺伝子異常の放射線感受性への影響を検討しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 上記目的のため、甲状腺ホルモン受容体<math>\beta</math>の発現レベルの異なる種々の癌及び正常細胞を用い、アデノウイルスにより正常・変異遺伝子を導入し、コロニー形成法による放射線感受性評価、フローサイトメトリーでの細胞周期の解析、フローサイトメトリー及びSA-<math>\beta</math>-Gal染色による細胞老化の検討、ウエスタンブロットによる細胞周期関連蛋白発現の検討、などを施行したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、甲状腺ホルモン受容体<math>\beta</math>の発現レベルの低い細胞にて、放射線感受性が変異遺伝子導入で増強し、正常遺伝子導入で低下した。さらに、この現象は、細胞周期G1集積による老化様細胞増殖停止のためであることが明らかとなった。これらの結果は、今後の放射線感受性と放射線誘発癌化・老化研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は、放射線基礎生命科学における放射線感受性・癌化・老化研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			